

フルカーボンコラムへのコンプレッションデバイスの取り付け方法について

※安全のために必ずご確認ください※

準備

必要工具

- ・コラムカット用工具
- ・クラウンレース取り付け工具
- ・トルクレンチ
- ・六角レンチ(4mm)
- ・六角レンチ(6mm)
- ・グリス
- ・メジャー

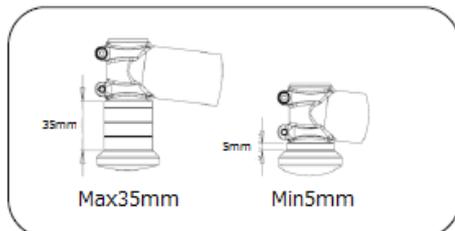
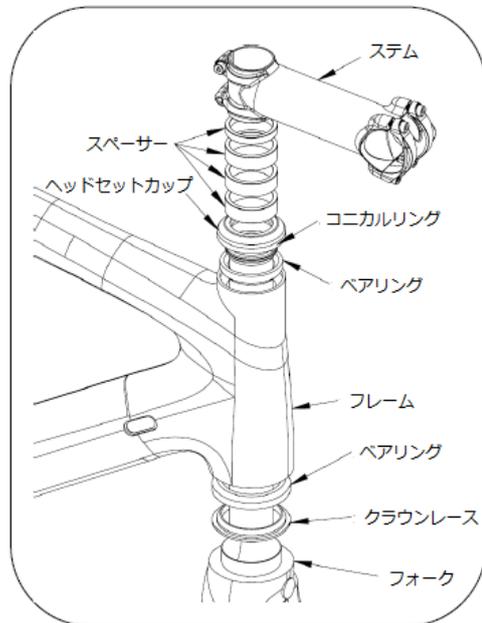


- ① 取り付け前にフォーク、ステムの両方をご確認下さい。
 - ・フォークに何らかの損傷が無いか調べる(深い痕、切り傷等)。
 - ・フォークの表面に影響を及ぼす恐れのあるバリがないか確認する。バリなどは取り付け前にヤスリ等で除去する。

フォークの取り付け

- ① クラウンレースを専用工具でフォークに取り付けるまたその際に接触面にグリスを塗布する。
- ② ヘッドチューブに上下のベアリングを取り付ける。
- ③ フォークをヘッドチューブに取り付ける。
- ④ コニカルリングとヘッドセットカップを取り付け、遊びが出ないように調節する。
その際フォークがスムーズに動くよう
- ⑤ ライダーのポジションに合わせてスペーサーを取り付ける。

※注意！ステム下部のスペーサーは、必ず5mm以上35mm以下となるように取り付けをして下さい。範囲外の場合、フォークコラムが破損し重大な事故につながる可能性があります。

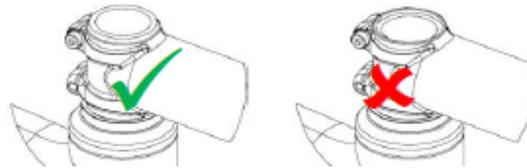
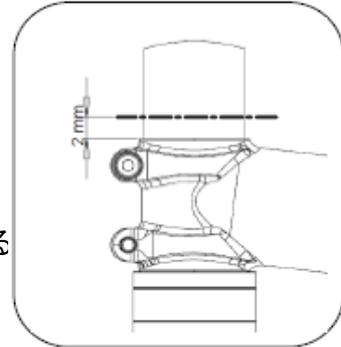


- ⑥ ステムを取り付け、ステム上面と一致する箇所に目印をつける。
- ※ 注意！ 取り付けの際、ステムとコラムの間には、カーボン用グリスなど、塗布しない。
- ⑦ フォークを抜き、コラムをカットする(※注意：下記「フォークコラムのカット」をご参照下さい)。
- ⑧ ベアリングにグリスを塗布する。
- ⑨ 再度③～⑤の手順でフォークを取り付ける
- 取り付けの際にはコラムについての余分なグリスをディグリーザーで除去する。

フォークコラムのカット

- ① ステム上部の位置を示す目印をつけておいた箇所を確認する。
- ② テープで養生をする。これによりカーボン表面のダメージを防ぐことができカットした後の表面がきれいになる。
- ③ 先につけた目印の2mm上部に新たに目印をつける。
- ④ 専用工具を使用し、③でつけた目印の箇所をカットする
- ⑤ 養生したテープをはがし、カットした表面のバリを取りヤスリをかける。

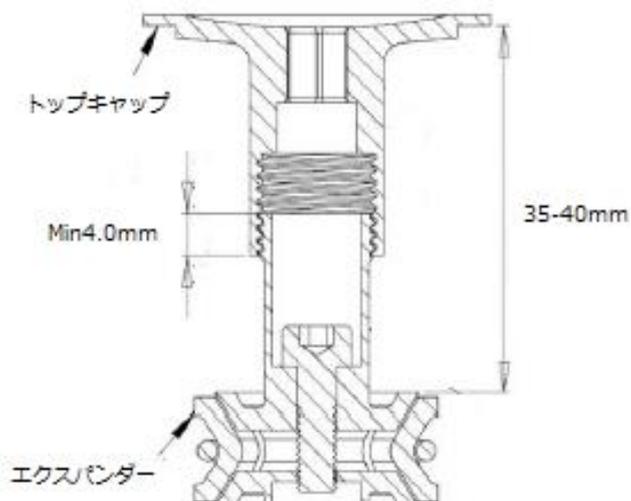
※ 注意！ フォークコラムの上端はステムより最低2mmは、出代を取らなければならない。
ただしその際5mmのスペーサーを超えるようにはしてはいけない
(詳細は⑩をご参照下さい)。



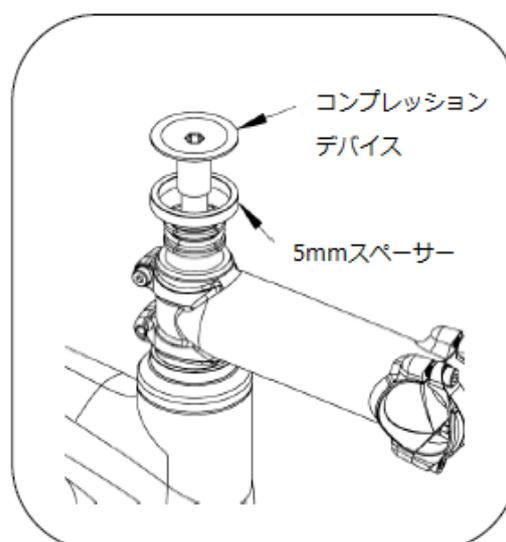
- ⑩ ステムを取り付ける。
- ※ 注意！ フォークコラムに傷をつけるなどして安全性を損なうことがあるのでコラムに取り付けた状態でステムを捻らない。
- ⑪ ステムの上に1枚5mmスペーサーを取り付ける
- ※ 注意！ ステム上部にスペーサーが取り付けられていない場合、また5mm以上のスペーサー(10mm等)が取り付けられている場合、フォークコラムが破損し重大な事故につながる可能性があります。
- ⑫ コンプレッションデバイスを用意する(「コンプレッションデバイスの取り付け方」をご参照下さい)
- ⑬ コンプレッションデバイスを取り付ける

コンプレッションデバイスの長さ調整

- ① コンプレッションデバイスのトップキャップ底面からエクスペンダーの上面までの長さを35-40mmの間に調節する
- ② トップキャップがエクスペンダーのネジ山に最低4mm以上締め込まれているか確認する



- ⑭ コンプレッションデバイスを取り付け内側にあるエクスペンダーのボルトをトルクレンチを使用して4mm7.0Nmで締め込む。
- ⑮ トップキャップを、トルクレンチを6mm5.0Nmの設定で使用し締め込む。
- ⑯ ステムをフロントホイールと直線上になるように取り付け、トルクレンチを4mm5.0Nmの設定で使用し締め込む。
- ⑰ フロントホイール・ブレーキをフォークに取り付け、ブレーキをかけながら上下左右に押し引きし取り付けに問題がないか確認する。もし動いてしまうなど取り付けが十分でない場合は⑭からやり直す。



フォークの点検について

フォークが適切に取り付けられているかどうか、最低でも、年に一回は販売店で点検をして下さい。

- ① ステムとコンプレッションデバイスが適切なトルクで取り付けられているかどうか確認する。締めつけが十分でないと構造的破損、損傷が発生している可能性があります。
- ② フォークを取り外す。
- ③ ベアリングの状態を確認し、グリスを交換、追加する。
- ④ フォークコラム外部内部の表面の状態を確認する。
- ⑤ 「フォークの取り付け」⑧-⑰に従って再度フォークを取り付ける。